

お知らせ

十月例会

期日…立教 188 年 10 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】

・岡山 10 月 2 日 教務支庁

報告

八月例会

去る 8 月 25 日、教庁 4 階講堂において「8 月例会」を開催。出席は 25 教区、91 直属。

各地の動き

【直属学生層育成者講習会】

・小牧 8 月 23 日 大教会

勝村宏樹副委員長出向

業務記録

《立教 188 年 8 月 16 日～9 月 15 日》

8 月 19 日 事務局連絡会

24 日 教祖百四十年祭

学生おぢばがえり大会

プロジェクトチーム会議

担当者活動部部会

学生部部会

25 日 委員会 例会

人材育成部部会

9 月 2 日 まなびばチーム会議

8 日 高校の部反省会

大学の部研究室

9 日 16 期委員会

16 期 17 期引継ぎ委員会・部会

10 日 17 期委員会

青空

学生担当委員会事務局に配属されて数日経ったある日、当時の委員長に「編集部でお願いします」と言われました。そこから担当者活動部を経て、さらには学修部と三つの部署で使っていた私は、極めてまれな局員だったのでないかと思います。要領をつかむのが遅いので、大変だったこともありましたが、さまざまなご用を務めさせていただいたおかげで、たくさんの方との関わりができて、たくさんの学びを得られました。そして何よりも、尊敬する委員の先生方や素晴らしい同僚たちと共に、学生層育成のご用の一端を担えたことは、本当にありがたい経験でした。

局員としての勤めは終わりますが、これからは、4 年半の勤務経験で学んだことを活かして、学生層育成のご用を務めたいと思います。

学生担当委員会 事務局員 山下龍一朗

担当者活動部 委員

松森 芳夫

とのお言葉を戴きました。

年祭活動の大詰めを迎える

今、学生担当者一人ひとりが、この大会にどうでもの思いで参集

し、さらなる決意を固めて、年祭

活動を最後まで心尽くしてつと

めきり、「教祖百四十年祭 学生

おぢばがえり大会」に向かって一

歩前進できるよう、心そろえて歩

ませていただきたいと思います。

「そつちで力を入れたら、神も力

を入れるのやで。『稿本天理教教

祖伝逸話篇』174 そつちで力をゆ

るめたら」

どうか学生担当者大会に、教

区・直属の担当委員長、委員の方

はもちろん、学生層育成に携わる

多くの方々にご参加いただきま

すよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 学生担当委員会 活動方針

「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

学生担当者報10

発行 / 天理教学生担当委員会

発行責任者 / 清水慶政

編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 464
立教 188 年
2025 年
9 月 25 日発行

「学生担当者の総会」



仕事の都合で
教会から遠く離
れている A 君は、

今年の自教会のこともおぢばがえりにスタッフとして飛行機で、費用と時間を掛けておぢばに帰ってきてくれました。

おぢばでの滞在時間は、移動時間よりも少ない数時間でありましたが、帰る前に二人で神殿に行きおつとめをし、リムジンバスへと送る際、彼の満足した様子を見て、彼のどうでもの思いでおぢばに足を運ぶ姿に、とてもうれしく思いました。

1ヶ月前には、うつ病が進行してしんどいと言っていた A 君でしたが、その姿を通して、おぢばがえりの姿勢とおぢばに帰らせていただく喜びを改めて気付かせていただきました。

本年も 11 月 25 日に第二食堂にて「学生担当者大会」が開催されます。

年に一度の「学生担当者の総会」と位置づけられるこの大会、特に今年は「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会」に向かって、さらなる決起を誓い合う場となります。ぜひ、学生層育成に携わる多くの方々に、おぢばに帰りたいいただき、ご参加いただきたいと思っています。

昨年の学生担当者大会における真柱様のメッセージの最後に、「学生たちが、年祭を成人の一つの節目として希望を持って道を通り、陽気ぐらしの担い手に育つ日を楽しみに、焦らず、諦めず勇み心をもって、しっかり学生を導いてくれますことを心から願ってメッセージいたします。」

「立教百八十八年 学生生徒修養会
高校の部」受講生アンケート

1 年生男子

学修に参加できて本当に良かったなと思う。また、毎日神様のお話を聞く程に知識が身に付き、お道の教えを学べて良かった。これからは日々のお礼のおつとめ、ひのきいんなどを積極的に言い、毎日感謝しながら生きていきたい。

1 年生女子

当たり前の日常が実は当たり前では無く、とてもありがたいことなんだと改めて実感させていただきました。また、人と協力し合うことがいかに大切かということも今回学ばせていただきました。これからは普段感謝を伝えられていない人に感謝を伝え、おつとめやひのきいんに今まで以上に積極的に励ませていただこうと思います。

1 年生女子

ふとした時、いつでも笑顔とありがとうを忘れずに、おつとめやお世話になっ

る教会のお手伝い、お下げをもっと積極的にしていきたいと思います。すてきな思い出仲間、学びをありがとうございました。

2 年生男子

とても楽しかった。班のメンバーと離れることや、学修が終わってしまふのがとても悲しい。感謝の心をもって過ごし、ありがたうを伝えることがとても大事であると学んだ。どんなことでもありがたうを伝え、感謝しながら日々過ごしていきたいです。

2 年生男子

本当に楽しかったです。狭い視野が一気に開けたような感覚になりました。自分と向き合い、前に進むことを意識するということ

2 年生女子

5 日間という限られた時間でどれだけ職員と仲良くなれるか、天理教の教えとしつかり向き合うかは自分の心次第だと思いました。学修で学んだ広い心、優しい心、思いやりなどたくさん

も生かしたいです。

2 年生女子

全国から来る学修で新しい友達ができとてもハッピーです。また、講話では心の使い方について印象に残り、5 日間を通して自分と向き合ういい機会となりました。学修期間だけでなく、日常でも自分と向き合っていたいと思いました。また、感謝と喜びの心を忘れずに陽気ぐらい、ひなたの道を進んでいきたいと思いました。

3 年生男子

3 回目の学修で参加前は少し嫌だったけど、今の自分に必要なことや言葉が分かった気がして参加できてよかったと思う。辛いことがあっても学修を思い出して自分の心を成長させ続けたい。

3 年生男子

今回学修に参加して特に当たり前が当たり前ではないということが印象に残っています。これからすべてのことに感謝して喜んでいきたいです。今回学んだことは常に

頭の隅に置いて何かあったときに実行できるようにしていきたいです。また、別席を運んでようぼくになります。

3 年生女子

親神様のご守護について知り、より身近に感じる事ができたと思う。学修でいろいろな話を聞いて天理教についてより深く知れたと思う。来る前は不安だったけど、あつという間の 5 日間だったし、すごく楽しかった。普段の生活から当たり前だといつも思っていたことに感謝して通りたいし、参拝して感謝の気持ちを伝えたいと思う。

3 年生女子

親神様、教祖に感謝し、互い立て合いや陽気ぐらいを意識して生活していきたい。

3 年生女子

普段天理教について話す機会がなかったけど、みんなと色々な意見交換をして天理教について考える機会になりました。

「立教百八十八年 学生生徒修養会
高校の部」カウンセラー感想文

今回、初めて学修スタッフのお話を頂き、カウンセラーとして生徒と関わる機会をお与えいただきました。高校 1 年生を担当させていただくにあたり、私自身も生徒たちもお互い初めて同士ということで、自分に何ができるだろうと不安や緊張ばかり抱いていました。その中でも事前研修、直前研修を通して、生徒に寄り添って共に悩み、考えながら低い心で通らせていただくことで、自分自身も一緒に成人させていただけるということに気がきました。

また期間中どんな事柄にも不足せず、小さなことに感謝し、常に教祖にお連れ通りた

だいて、何で喜んで通らせてもらおうという気持ちで本

しかし、班でのグループタイムを通して、

生徒たちの楽しそうに話す姿、真剣に考える姿、自分の考えを一生懸命に伝える姿、周りの班員たちの意見を真摯に受け止め向き合う姿に生徒たちの成長を感じ、その姿に私自身多くのことを学ばせていただきました。また、期間中のお話の中で、親神様のご守護や教祖の教えを学び、振り返りの時間ではお道の素晴らしさを語る生徒の姿に感銘を受けるとともに、信仰の喜びが生徒に伝わっていると思うと、とても嬉しくなりました。

学修を終えるころには生徒の表情も心も、初日とは別人のようになっており、学修の素晴らしさをスタッフの立場から初めて実感することができました。

私は、今回カウンセラーとして直接的に生徒と関わらせていただきましたが、他にも多くのスタッフが携わっており、人目には触れない部分で関わる方々のおかげで学修が成り立っていることに改めて気付かせていただき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。学修を通して多くのことを経験し、学ばせていただきました。本当にありがとうございました。